

植物多様性センターの「ドクダミの総苞片のヒミツ」

ドクダミは、旺盛な繁殖力と独特の香りで、厄介がられることの多い植物です。白い花弁に見えるのが総苞片であることは、よく知られていますが、その構造を観察したことはあるでしょうか？じつは4枚の総苞片はすべて同じではありません。つまり、外側が長くなることで、近くの葉への影を最小にし、バックライトで地味な花を浮き立たせ、甲虫や花蜂などへの滑走路ともなる最強のツールなのです。



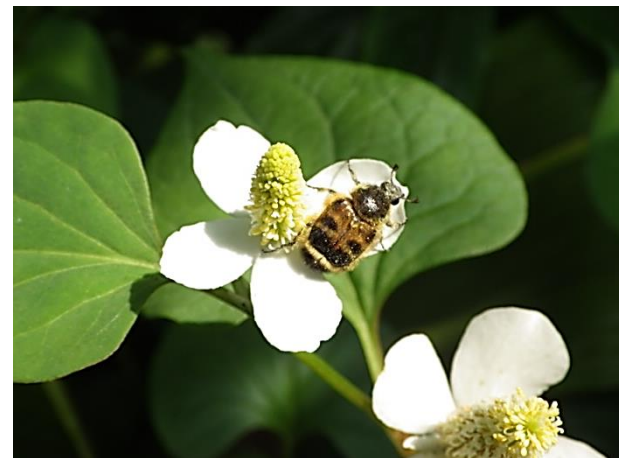
花：花弁のない多数の花と花弁状の4枚の十字架状の総苞片



つぼみ：同じ節の葉に対して対角線上の総苞片が最初に開く



展開順：次に両側が開き最後に、短い対辺（手前側）が開く



訪花昆虫：絶滅危惧種のヒメトラハナムグリもやってきた